

# FOCUS

## 追いかける。大学生。

### 神戸大学 まさむね 日本酒サークル正宗会

灘の街を元気に！

全国でも珍しい日本酒サークルが昨年11月、お酒で有名な町、神戸の灘に生まれた。7月28日に御影西町会館（神戸市東灘区）で行われた試飲会に参加し、創立者であり代表を務める神戸大の山口泰広さん（農学研究科・修士課程）に、設立のきっかけなど詳しい話を聞いた。

この日行われた試飲会は「灘の地酒を知ろう！」の会というところで、灘にある酒蔵で作られたお酒9種類を中心にふるまわれた。最初に日本酒の用語、味、食べ合わせなどについて解説したプリントが配られるなど、日本酒をよく知らない人への配慮も。またサークル主催のイベントでありながら、地元にある「灘のお酒を飲む会の会」の会長など、地域のお酒好きも参加。日本酒や酒蔵の知識について、学生がフォローできていない部分に助け船を出す部分もあった。1杯ずつ飲み終わるごとに参加者が感想を言



今回のイベントに参加した、部員と地域の人たち。前列1番左が創立者であり代表の山口泰広さん（農学研究科・修士課程）。

# 日本酒で生まれる交流の輪

なった山口さん。品出しなど日本酒にふれる中で、「このお酒はどういう風に作られたという味なのか」ということが気になり始め、ますます興味を持ち始めた。そこから個人で日本酒を飲むことが増え、友人と日本酒の話題になることが度々あり、自分の周りに思っていたよりも日本酒好きが多かったことに気づいたという。そこから「もっと日本酒が好きだな」と話したい。日本酒を通して人と交流がしたい」と思いうようになり、昨年の11月11日の設立に至った。

設立メンバーは、以前所属していたサークルの友人たちを含めた数人。これまでは主な活動として、関西圏のお酒のイベントに参加してきた。そこで気づいたのが「他の大学や地域の人々と関わることの面白さ」という。今回イベントに参加した「灘のお酒を飲む会の会」の会長もイベントを通じて知り合い、さらにはサークルの顧問も同じようにして見つけたという。他には全国的に有名な利き酒士や、灘の酒蔵に詳しい地域の人も知り合った。また、神戸大以外にもお酒サークルが次第に広がっている。今年4月には大阪大にも日本酒サークルが、同志社大には日

本酒限定ではないがアルコール研究会ができた。友人のネットワークを通じて、東京医科歯科大の人とも知り合い部員として招くなど、つながりは関西以外にも広がっている。



(聞き手＝香月隆彰)

## UNN関西学生報道連盟

FOCUSは  
神戸大学ニュースネット委員会  
同志社大学 PRESS 編集部  
NEWS 立命通信社  
関学新月通信社  
大阪大学 POST 編集部  
関西大学タイムス編集部  
神戸女学院大学 K.C.Press 編集部  
京都女子大学藤花通信編集部  
京都大学 EXPRESS 編集部  
の共同編集による週刊フリーペーパーです